



グローバル EHS - 作業安全許可基準

管理情報

管理項目	詳細
文書番号	2W4373RQWREN-1568922467-397
改訂	1
改訂日	2024 年 7 月 15 日
ECN 番号	101081224
翻訳版文書	英語 、 簡体字中国語 、 繁体字中国語 、 ヒンディー語 、 日本語 、 マレー語

目次

1	目的	3
2	範囲	3
3	担当と責任	3
4	用語と定義	4
5	参考文献	5
6	基準	6
6.1	一般要件.....	6
6.2	作業許可システム.....	6
6.2.1	高所作業許可.....	6
6.2.2	閉鎖空間許可.....	7
6.2.3	クレーンリフティング許可	7
6.2.4	高温作業許可.....	8
6.2.5	掘削許可.....	8
6.2.6	通電部作業（EEW）許可	9
6.3	研修.....	9
7	付録	10
8	文書管理	10
9	改訂履歴	10

表

No table of figures entries found.

図の表

No table of figures entries found.

1 目的

本基準は Micron の EHS 作業許可 (PTW) プログラムの最低限の要件を定めるものである。本書は、EHS 安全許可の評価方法と実施方法を全世界的に統一するためのものである。

2 範囲

項目	詳細
対象のサイト	全 Micron サイト
対象者	Micron チームメンバーおよびその請負業者/ベンダー
適応性	作業許可を必要とする活動に関連した現地の規制がある場合、サイトはより厳しい方の規制による要件に順守する。

3 担当と責任

担当	責任
グローバル EHS	- 本基準のレビューと更新を 2 年に 1 回または必要に応じて実施する - 全ての関係者から適切な情報を確実に入手する - すべての Micron サイトで本基準を利用できる状態を確保、維持する - 本基準の配布に当たって、指示、相談、指導、要件を規定する - サイトにおける本基準の順守状況を監視・評価する
サイト EHS	- 本基準に定める要件をサイトは確実に順守する - 本基準に定める要件に従って、サイトの安全手順のレビュー、更新、作成を行う - 本基準の要件と後続の変更内容を見直し、要件の効果的な実施を徹底させるための対応策を明確にする。 - 少なくとも 3 年に 1 回、またはそれ以上（不適合のリスクが存在する場合など）の頻度で、本基準の更新された要件に対する継続的な適合性を評価し、適合性評価の過程で特定された欠陥を修正するための措置を実施する。
Micron チームメンバー、ホスト	- 全ての作業活動にあたって、本基準に定める要件を確実に順守する - 本基準に定める要件を順守して、リスク評価/ジョブハザード分析、サイト安全手順のレビュー、更新および（または）作成に参加する - PTW が与えられている TM または請負業者だけが作業を実施していること、他に不正な妨害が無いことを確認する。 6S および（または）ハウスキーピングを維持して、作業エリアがきちんと整頓され、安全な状態にあるようにする。これは、作業の開始前、最中、および完了時に確認する。 - 安全ではない、または安全でない可能性がある状況の疑いがある場合、または状況が変化した場合、作業を中止する
作業許可権限者	次の点を確認する： - PTW 権限者および許可を求める PTW 要請者のように振る舞ってはならない。自分たちで作業を実行するために作業の PTW を認可してはいけない - PTW 要請者は申請した許可の要件を理解し、想定された作業が実施されるようにする。

担当	責任
	- 中止または PTW を再認可するべきさらなる危険性が認識された状態を確認する - 資格を有しており、許可が申請された作業に関連する危険性を理解している。PTW 申請を認可または拒否する権限を持っており、認可または拒否をするように圧力をかけられないことがない。 - 想定された作業の全ての予見可能な危険性および関連する管理対策はリスク評価またはジョブハザード分析で特定されている。 - 作業が安全に行われるように、設備/エリアの状態および実施された管理対策を含む物理的なサイトのチェックをする。これは PTW 要請者と合同で実施されることもある。 - 想定された作業と相互に関連する可能性のある、両立しない作業が付近で同時に実行されていない。 - 緊急時のための適切な準備が PTW の申請時に検討されている。 - 申請された PTW の影響を受けるかもしれない作業員との効果的かつ適切なやりとり。 - PTW 要請者は作業実行時には、許可に記載されている条件（例えば、物理的境界や作業種別、許可有効期間など）を順守する。 - 誰かが安全でないと感じたり、作業活動の側面に不安を感じたりしたら、「作業中止を勧める」文化を広める
作業許可要請者	- PTW 権限者および許可を求める PTW 要請者のように振る舞ってはならない。自分たちで作業を実行するために作業の PTW を認可してはいけない - 作業開始前に、作業危険性を理解し、全ての安全対策を実施する。 - PTW の申請前に、リスク評価/ジョブハザード分析およびその関連する安全作業手順をレビュー、更新および/または作成する - PTW 申請時、PTW 権限者に作業関連の危険について連絡する。 - PTW で規定された条件を全ての作業員が認識し厳守しているか確認する。 - 作業を有能に安全に実施するために全ての作業員が適切な研修を受けているか確認する。 - 作業を完了または一時停止した時点で、サイトは安全な状態になっており、PTW 権限者に通知されているか確認する。 - 当初の許可された状態に変更があった場合、作業を中止して危険性と管理を再評価し、作業許可権限者に通知する - 誰かが安全でないと感じたり、作業活動の側面に不安を感じたりしたら、「作業中止を勧める」文化を広める

4 用語と定義

用語	定義
PTW	作業許可 選択された作業活動を管理し、現場で安全に作業が実行されるように用いられる正式な許可システム。
PTW 権限者	許可を認めるチームメンバー。彼/彼女は、PTW 申請を認可または拒否する権限を持っている必要があり、認可または拒否をするように圧力をかけられることがあってはならない。
PTW 要請者	許可を申請しているチームメンバー、ホストまたは請負業者およびベンダー。

用語	定義
RA	リスク評価 危険を特定し、ライフサイクル全体のプロセスのリスクを評価し、従業員、公衆、または環境へのリスクが合理的なリスク許容度内で一貫して制御されていることを確認する分析プロセス。
JHA	ジョブハザード分析 作業によって事故が発生する前に、危険を識別する方法として作業に注目した手法。JHA では、作業員、作業、工具、および作業環境との関係に着目する。特定することで排除または制御できる。
非定常業務	スケジュールされた保全作業（予防的保全作業）
非定常業務	スケジュールされていない保全作業（是正保全作業）

5 参考文献

内部参考資料	リンク
グローバル EHS - 高所作業基準書	2W4373RQWREN-1568922467-48
グローバル EHS - 閉鎖空間プログラム基準書	2W4373RQWREN-1568922467-146
グローバル EHS - リフトおよびリギング関連基準	2W4373RQWREN-1568922467-82
グローバル EHS - 電気的安全基準	2W4373RQWREN-1568922467-388
グローバル EHS - 掘削基準	2W4373RQWREN-1568922467-695
グローバル EHS 重大リスクレビュー用チェックリスト	リンク

外部参考資料	リンク
無	無

6 基準

6.1 一般要件

全ての Micron サイトは一貫したタスク評価のためこの作業許可（PTW）プログラムを実施して、作業を安全に遂行する。サイトは PTW システムを定め、その実施と保全のために十分なリソースを確保する。

6.2 作業許可システム

作業許可（PTW）プログラムは選択された作業活動を管理し、現場で安全に作業が実行されるように Micron で用いられている正式な許可システム。異なる部門、PTW 権限者および PTW 要請者の間の、危険性の連絡手段である。

作業許可システムは以下の活動に適用される：

- 定常業務
- 非定常業務

全ての許可要請は少なくとも次のものを含む：

- 作業活動の目的および作業の内容
- 作業場所
- 作業日時および時間
- リスク評価/ジョブハザード分析
- 作業許可権限者の部門/名前およびサインオフまたは立入の承認
- 作業許可要請者の部門/名前およびサインオフまたは立入の承認
- 作業完了の承認

Micron は、現場管理強化プログラムに従い、[重大リスクレビュー用チェックリスト](#)を使用して作業開始前に追加の検証を必要になる可能性がある、9 つの重大リスク（高所作業、電気を使用する作業、吊り上げ作業、閉所空間での作業、掘削作業、熱を伴う作業、道路事情や環境管理が必要な作業、有害な物質を使用する作業）を特定しました。

作業の許可が申請された後で、適用される重要なリスクチェックリストを完了する必要があります。

6.2.1 高所作業許可

高所作業とは、人が高所から落下する可能性があり、人身事故を起こすおそれのある場所を含む、地上または地下のあらゆる場所での作業である。

全ての高所作業活動はグローバル EHS - 高所作業プログラム基準を順守するものとする。

高所作業許可の申請は、3 メートル以上の高所作業、または現地の規制要件または建設要件のうち、どちらか厳しい方の要件で行われる。これは既定の高所作業許可限度以下の高さで作業する者が、落下防止対策を適用することを妨げるものではない。

申請にあたり、以下の要件を考慮する必要があるが、これに限定されない。

- 落下防止計画（明らかに個人が原因の場合を含む）
- 安全作業手順
- リスク評価/ジョブハザード分析
- 落下防止設備の保守性の認定書
- 有資格者認定書
- 作業員能力/資格認定書
- 作業員研修記録（必要に応じて）
- 緊急および救援対応
- その他の安全許可は、申請要件を満たしている場合に申請を行わなければならない。

6.2.2 閉鎖空間許可

閉鎖空間とは、その空間の出入りに制限がある、または規制された手段がある場所であり、その場に人が入るのに十分な大きさである必要があり、かつその場は人が長時間留まっているように設計されていない。

すべてのサイトの閉鎖空間の活動は、グローバル EHS - 閉鎖空間プログラムの基準に準拠しなければならない

すべての閉鎖空間作業活動は、閉鎖空間許可証を必要とし、許可証の写しを作業現場に掲示しなければならない

閉鎖空間の許可は、接近と検査のみを許可する。高温作業、高所作業または電気を使用する作業が閉鎖空間内で行われる場合には、追加の許可証を申請する必要があり、閉鎖空間許可証を相互参照しなければならない。

申請にあたり、以下の要件を考慮する必要があるが、これに限定されない。

- 安全作業手順
- リスク評価/ジョブハザード分析
- 有資格者認定書
- 作業員能力/資格認定書
- 作業員研修記録（必要に応じて）
- 緊急および救援対応
- その他の安全許可は、申請要件を満たしている場合に申請を行わなければならない。

6.2.3 クレーンリフティング許可

すべての現場クレーンリフティング作業は、グローバル EHS - リフトおよびリギング関連基準

クレーンリフティング許可証の申請は、すべての重要なリフトに対して行わなければならない。これには以下が含まれる：

- クレーンの定格荷重の 70%を超えるリフト
- 複数のクレーンを使用する必要があるリフト
- 有害物質の保管
- 送電線の上または近くのリフト
- 重心が変化するリフト

- 非定常的でないまたは技術的に困難なリギング設備を伴うリフト

申請にあたり、以下の要件を考慮する必要があるが、これに限定されない。

- リフティング計画
 - 積荷の重量
 - リギングの重量
 - 積荷全体の総重量
 - リフト作業中に使用されるクレーン容量の割合の計算
 - クレーンが使用される設定におけるクレーンの容量を記録したクレーンチャート
 - リフトが使用される設定での、リフトの最大となるクレーン半径
 - 積荷を持ち上げる位置、積荷がセットされる場所までの距離
- 安全作業手順
- リスク評価/ジョブハザード分析
- クレーンの保守性の認定書
- クレーンリフティングの保守性の認定書
- 有資格者認定書
- 作業員資格認定書
- 作業員研修記録（必要に応じて）
- 緊急および救援対応
- その他の安全許可は、申請要件を満たしている場合に申請を行わなければならない。

6.2.4 高温作業許可

高温作業とは、リベット締め、溶接、溶断または燃焼のことを指し、熱の使用または発生または火花の発生を伴うその他の作業を含む。

高温作業許可の申請は、高温作業指定区域外で火気を使用または火気を使用して作業を行う場合に行う。高温作業の例には、次のものがある：研削（火花が発生する）、火炎切断。

申請にあたり、以下の要件を考慮する必要があるが、これに限定されない。

- 敷地内に消火器を設置する
- 火気使用作業中および作業完了後の現場には、火気監視員を配置する。作業終了後、1 時間連続で火災監視をする。
- 安全作業手順
- リスク評価/ジョブハザード分析
- 高温作業設備の保守性の認定書
- 有資格者認定書
- その他の安全許可は、申請要件を満たしている場合に申請を行わなければならない。

6.2.5 掘削許可

掘削とは、人間または機械を問わず、杭またはその他の物を地中に打ち込むことを含む掘削のことを指す。

すべてのサイトの掘削空間での活動は、グローバル EHS - 掘削基準に準拠する

掘削許可の申請は、次の場合に行う：

地中 0.3 m 以上の掘削工事（これは、トレイルホール掘削、手動および機械での掘削、およびあらゆる物体の地中への打ち込みなど、あらゆる種類の掘削に適用される。）

申請にあたり、以下の要件を考慮する必要があるが、これに限定されない。

- 安全作業手順
- リスク評価/ジョブハザード分析
- 有資格者認定書
- その他の安全許可は、申請の要件を満たす場合に申請しなければならない

6.2.6 通電部作業（EEW）許可

50 V（AC、rms）を超える活電システムで作業する場合、通電部作業許可が必要である。

すべてのサイトの電気を使用する活動は、グローバル EHS - 電气的安全基準に準拠する

申請にあたり、以下の要件を考慮する必要があるが、これに限定されない。

- 安全作業手順
- リスク評価/ジョブハザード分析
- バディシステムが必要である
- その他の安全許可は、申請の要件を満たす場合に申請しなければならない。

6.3 研修

作業許可権限者は、資格を有しており、許可が申請された作業に関連する危険性を理解していなければならない。PTW 申請を認可または拒否する権限を持っており、認可または拒否をするように圧力をかけられることがあってはならない。

作業許可要請者は、資格を有し、許可申請の対象となる業務に関連する危険性を理解していなければならない。

作業許可権限者は、グローバル EHS - 安全衛生リスク管理トレーニング（E_LRN 1172427）または地域の規制当局によるリスク管理コースを修了しなければならない。

7

付録

無

8

文書管理

項目	詳細
ECN 施設	コーポレート EHS
ECN 領域	EHS 安全
承認	本文書は以下によって承認される。 GLOBAL_EHS_SEAL_LT
通知	本文書に対する変更通知は、以下のとおり Micron エンジニアリング変更通知（ECN）プロセスを通じて管理される。 <u>EHS</u> - GLOBAL_EHS - GLOBAL_EHS_MANAGERS - GLOBAL_EHS_SEAL_LT - GLOBAL_EHS_TEAM_MEMBERS <u>施設</u> - GLOBAL_FAC_MANAGERS - GLOBAL_FAC_NOTIFY - GLOBAL_FAC_PM_MANAGERS - GLOBAL_FAC_CONSTRUCTION
レビュー	本文書のレビューは、少なくとも隔年（2 年に 1 回）、グローバル EHS/PSM により定期文書レビュー（PDR）プロセスを通じて実施される。

9

改訂履歴